

日野高校郷土芸能部、県代表として全国大会へ

▼平成24年度鳥取県高等学校総合文化祭郷土芸能部門発表会
(全国高等学校総合文化祭・近畿高等学校総合文化祭予選会)



最優秀賞を受賞し、全国大会出場を喜ぶ日野高校郷土芸能部

《喜びの声》 部長 西村えりさん(3年) ※写真下段・中央

部員みんなが揃って練習する機会が少なく、不安でした。後輩を全国大会に連れて行ってあげたかったので良かったです。私は卒業し、来年の全国大会に行くことはできませんが、後輩には一生懸命頑張ってもらいたいと思います。地域の皆さん、これからも日野高校郷土芸能部を応援してください。よろしくお願いします。

県内の高校文化部の祭典、鳥取県高等学校総合文化祭(鳥取県高等学校文化連盟主催)の郷土芸能部門発表会が、

12月6日、町文化センターで開かれ、県内にある4校の郷土芸能部が練習の成果を発揮しました。会場には、普段見ることのできない県内の郷土芸能をひと目見ようと、町内外から多くの人が訪れ、素晴らしい演技に見とれました。

出演したのは、出演順に倉吉農業高校(倉農太鼓「風打吹流」、智頭農林高校(因幡麒麟獅子舞)、米子白鳳高校(淀江さんこ節)、日野高校(荒神神楽「八重垣能」)の4校です。それぞれが迫力ある演技を披露。会場からは大きな拍手と歓声が送られ、演技によっては観客が飛び入り参加するなど、会場を沸かせました。

またこの大会は、平成25年度に開かれる第37回全国高等学校総合文化祭長崎大会と、第33回近畿高等学校総合文化

祭三重大大会の出場権をかけた予選会を兼ねており、5人の審査員が演技を見守りました。

すべての演技が終了し、全国高等学校総合文化祭には日野高校(最優秀賞)が、近畿高等学校総合文化祭には米子白鳳高校(優秀賞)が県代表として選ばれ、日野高校の生徒からは、歓喜の聲が上がり、涙があふれました。

審査員は「どの高校も甲乙つけがたい。県内の郷土芸能部の演技は、年々レベルが上がっている。県の宝物といえる。鳥取のためにも伝承していったほしい」と、エールが送られました。

日野高校郷土芸能部を指導する西村敦仁教諭は「良かったです。ほっとしています」と笑顔。部員それぞれに声をかけて喜びを分かち合いました。また、「全国大会に向けて、部員を増やしたい」と、西村さんは気持ちを引き締めました。



▶金色に輝く麒麟が静かな動きや激しい動きを見せる。笛、太鼓の音色と相まって会場は厳かな雰囲気
 ◀伸びのある歌声と、躍動感あふれる傘踊り、演技で会場を魅了する



▶息の合ったばちなびき。会場全体に太鼓の音が響き渡る



倉吉農業高校 倉農太鼓「風打吹流」

智頭農林高校
因幡麒麟獅子舞



軽快なお囃子の音が盛り上げる



迫力ある7体のオロチ



迫力あるスサノオノミコトとオロチの戦い